

R2 年度 音楽科年間シラバス（第1学年）

1 授業で必要なもの

教科書 「中学生の音楽 1」（教育芸術社）、「中学器楽 音楽のおくりもの」（教育出版）
 その他 「中学生の音楽ワークブック 1年」（仙台市中学校音楽教育研究会）、ファイル

2 学習計画

学期	月	主な学習内容	どのような能力を身に付けるか
1 学期	4	〈歌声をつくろう〉 ・呼吸法、基本的な姿勢と発声 ・表情トレーニング ・校歌	・合唱の基礎である呼吸法や姿勢、伸びのある発声法を身に付ける。 ・校歌の歌詞の意味を理解しながら歌うことができる。 ・明るく響きのある歌声で表現することができる。
	5 6 7	〈合唱のよろこび〉 ・合唱コンクールの課題曲 ・合唱コンクールの自由曲 ・復興ソング「仲間とともに」	・パートの音程に注意し、全体の響きの中で正しい音程やリズムで歌うことができる。 ・クラスで一つの曲に取り組む中で、表現する喜びを味わい、合唱に親しむことができる。 ・詩の内容から情景や心情を読み取り、イメージや感情を膨らませ、音楽表現の工夫につなげることができる。
	8 9	〈歌い継ごう 日本の歌〉 ・「浜辺の歌」、「赤とんぼ」 〈曲想の変化を感じ取ろう〉 ・映画音楽 ・「春-第1楽章-」	・情景をイメージした表現や、言葉の抑揚と旋律との関わりについて理解し、歌唱表現を工夫することができる。 ・音楽を聴き、曲の情景を感じ取ることができる。 ・音楽を形づくっている要素を知覚・感受し、考えを言葉で表現することができる。
	10	〈日本の伝統音楽〉 ・篠笛（特別非常勤講師による授業） ・日本の民謡	・篠笛の基本的な奏法を身に付け、独特な響きを味わいながら、簡単な曲を演奏することができる。 ・日本の代表的な民謡に触れるとともに、宮城県に伝わる民謡に親しみ、その特徴を感じ取ることができる。
2 学期	11	〈詩の内容と曲想との関わりを感じ取ろう〉 ・「魔王」	・曲の雰囲気を感じ取り、イメージを膨らませながら聴くことができる。 ・場面の雰囲気や登場人物の心情を、音楽でどのように表現しているか理解することができる。
	12	〈簡単な旋律をつくろう〉 ・リズム、メロディー創作	・音符や休符、拍子などの基礎的な知識を身に付け、簡単なリズムをつくることができる。 ・和音構成音やコード進行の仕組みを理解し、簡単なメロディーをつくることができる。
	1 2 3	〈日本の伝統音楽に親しもう〉 ・箏曲、尺八曲 〈合唱のよろこび〉 ・予餞式の合唱	・和楽器が生み出す独特な音色や余韻の変化を感じ取り、日本の伝統音楽の持つよさを味わいながら鑑賞することができる。 ・3年生を送り出す下級生としての気持ちや、お世話になった人への感謝の気持ちを歌で伝えることができる。

3 評価の観点と評価の場面

評価の観点	評価の場面
関心・意欲・態度	授業の様子、提出物、ワークシート、定期考査
表現の創意工夫	授業の様子、ワークシート
表現の技能	実技の観察、実技テスト
鑑賞の能力	授業の様子、ワークシート